

西新宿スマートシティプロジェクト

～「つながる街」西新宿を目指して～

令和4年度 第1回協議会

2022年5月27日
(11：00～12：00)

議事次第

目的

- R4年度における西新宿スマートシティ協議会の取組方針案を確認すること
- プロジェクトの状況を共有し、プロジェクト間連携や新たな企業のプロジェクト参画の可能性を探ること

議事次第

1. 開会の挨拶（宮坂副知事） 《5分－累計5分》
2. 協議会参加者の紹介 《1分－累計6分》
3. 協議会の運営方針・R4年度スケジュールの確認 《4分－累計10分》
4. 仮説検証PTの実施方針（案）の報告 《5分－累計15分》
5. 課題解決PT・都市OS検討PTの実施方針（案）の報告 《5分－累計20分》
6. 課題解決PT・都市OS検討PTのプロジェクト取組（案）の報告 《10分－累計30分》
7. 広報・巻き込みTFの実施方針（案）の報告 《5分－累計35分》
8. 意見交換 《20分－累計55分》
9. 閉会の挨拶 《5分－累計60分》

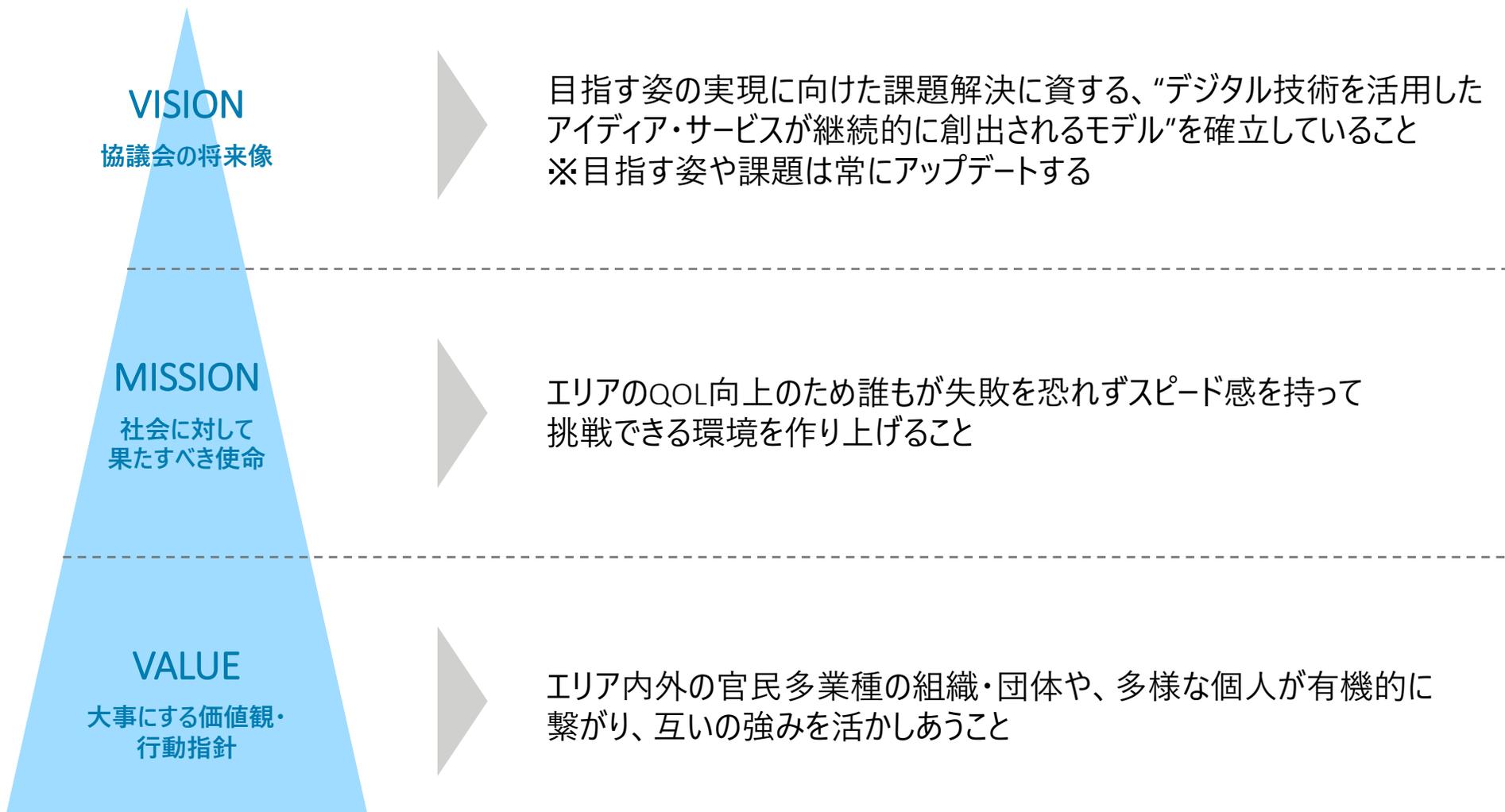
1. 開会の挨拶

2. 協議会参加者の紹介

3. 協議会の運営方針・R4年度のスケジュールの確認

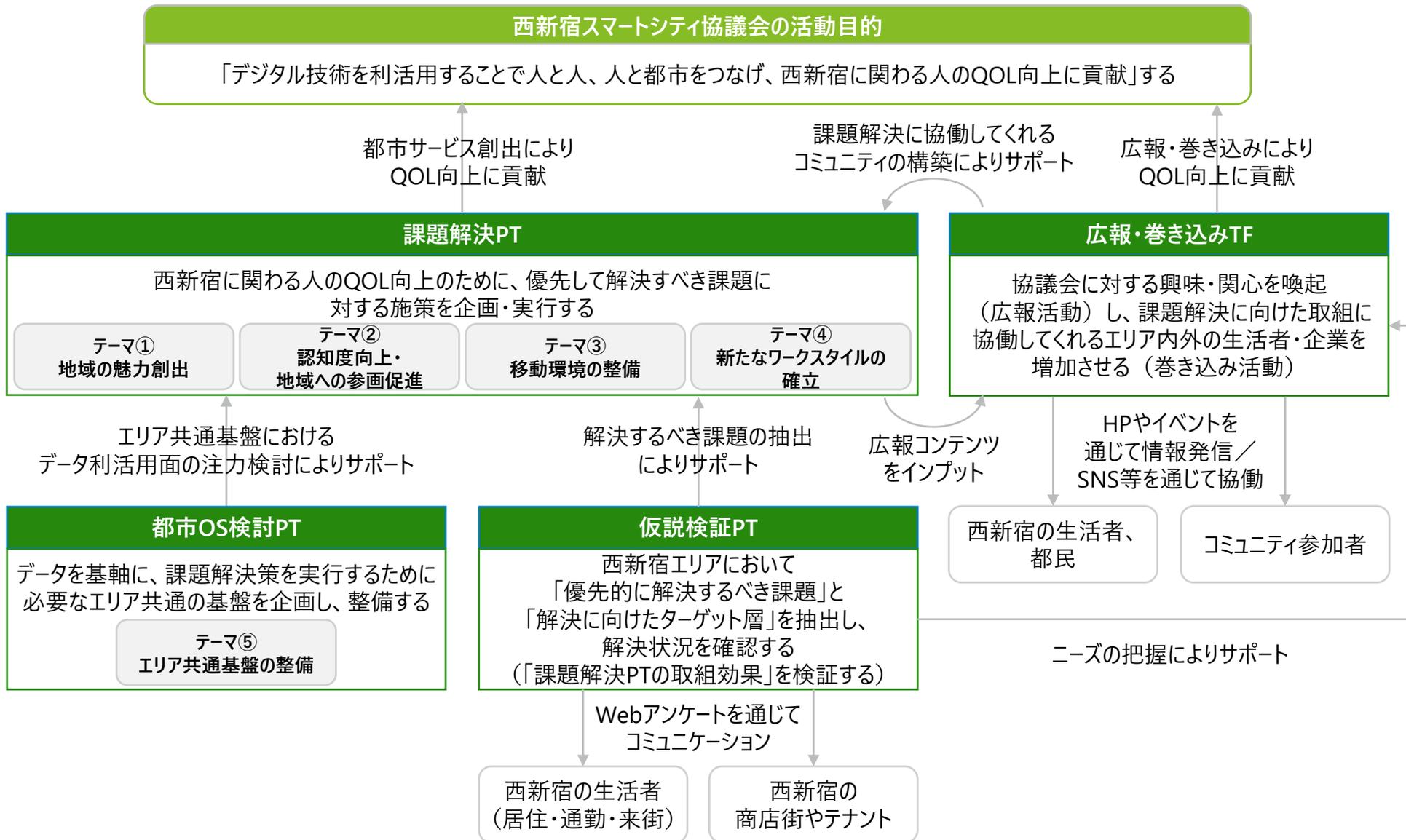
西新宿スマートシティ協議会の運営方針

協議会の目的でもあるモデル形成を将来像に据え、挑戦できる環境づくりを使命とし、多様なプレイヤーが強みを活かすことを大事な価値観としている



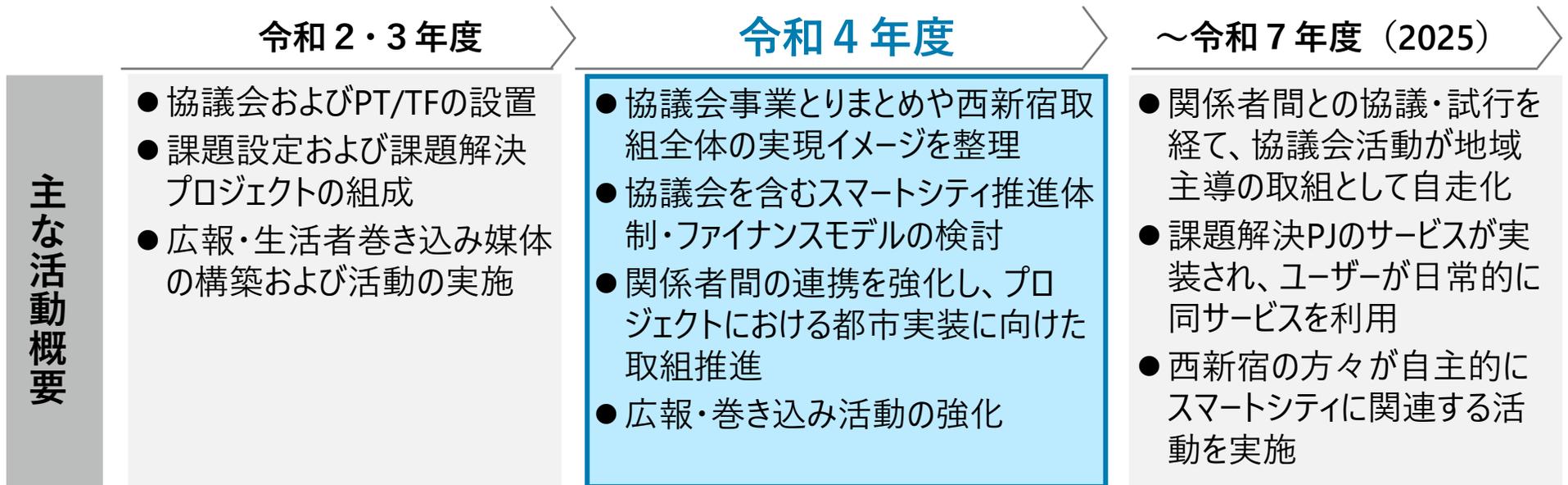
協議会における各PT/TFの位置づけ

協議会の目的達成に向け、課題解決策の推進や広報活動を通じた機運醸成を図る



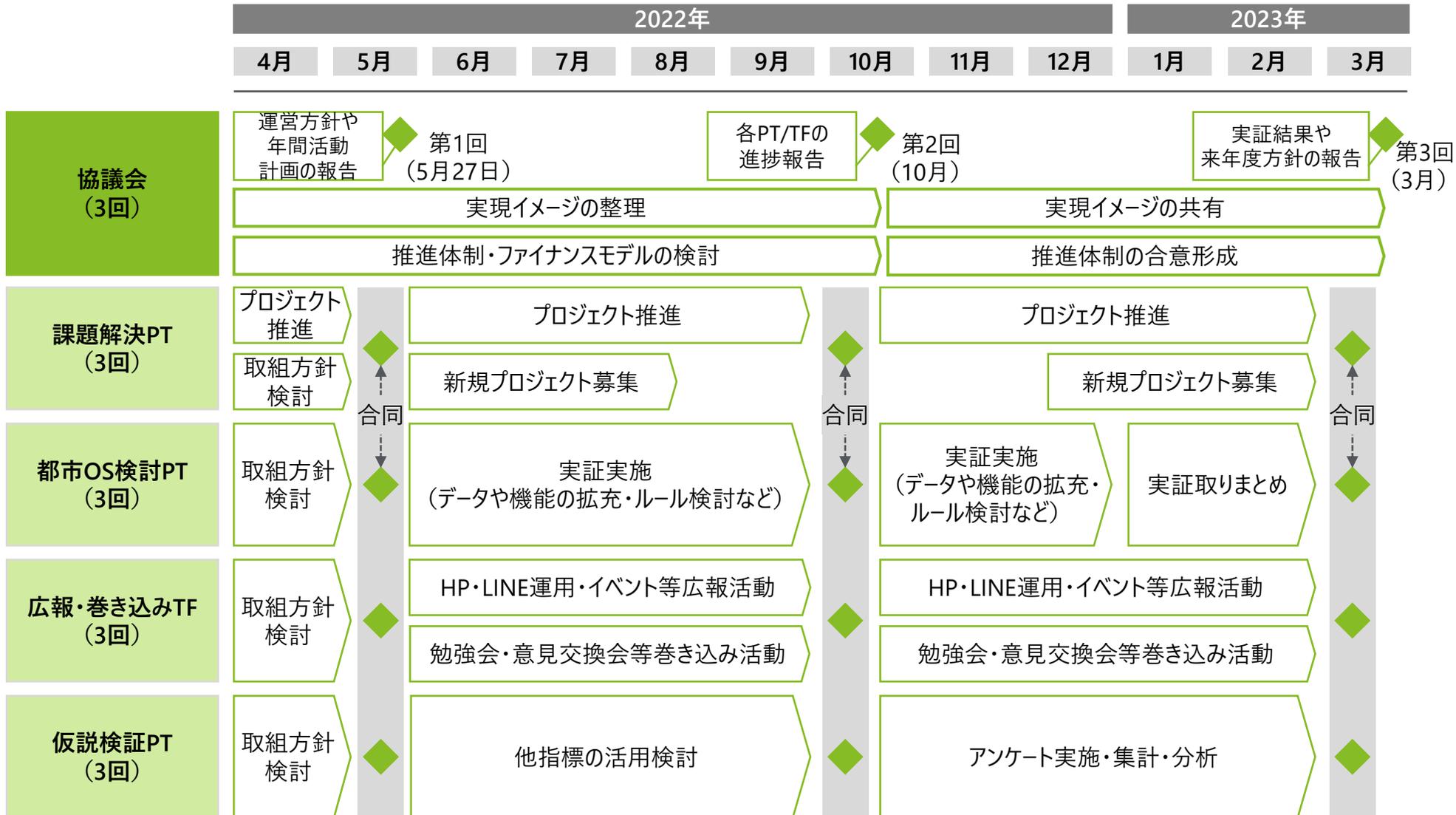
R4（2022）年度における協議会の主な活動内容（案）

数年後に西新宿スマートシティ協議会の取組がエリアに実装されていくことを見据え、今年度の協議会の主な活動内容案を作成



R4年度スケジュール（案）

今年度の協議会は全3回、開催時期は5月・10月・3月頃を予定



※進捗は随時共有し、事業の改善や今後の計画策定等へ反映

※PT/TFについては、必要に応じて追加開催

6.【仮説検証PT】 実施方針（案）の報告

R4年度の仮説検証PTの実施方針（案）

アンケート調査を継続して実施するとともに、SCI調査結果の活用も検討する

<p>ミッション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 課題の解決状況（＝ニーズの充足状況）を最新化し、優先的に解決すべき課題を更新すること ■ 課題解決に向けた課題ごとのターゲット層を確認すること ■ 課題解決の取組による効果を検証すること 		
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境改善委員会 ■ 東京都 ■ 新宿区 ■ フェロー 		
<p>実施事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 課題把握アンケート <ul style="list-style-type: none"> ➢ アンケート調査・分析①：西新宿における課題の把握（R2年度から継続） ➢ アンケート調査・分析②：西新宿におけるコミュニティへの参加ニーズの把握（R3年度から継続） ■ 効果検証アンケート <ul style="list-style-type: none"> ➢ アンケート調査・分析③：取組全体・取組毎の効果検証（R2年度から継続） 		
<p>スケジュール ・主な アジェンダ</p>	<p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 年間スケジュール（案）の共有 ■ 課題調査方針の共有 	<p>協議会 (第1回)</p> <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 生活者向け調査設計内容、実施概要の共有 ■ SCI調査の分析結果の活用検討 	<p>協議会 (第2回)</p> <p>3月</p> <p>協議会 (第3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 生活者向け調査分析結果の共有 ■ 取組全体・取組毎の効果検証結果の共有 ■ 仮説検証PT活動の振り返り ■ 次年度方針（案）の共有

※PTについては、必要に応じて追加開催

優先課題は、毎年のアンケート結果等を踏まえて適宜更新していく

テーマ	生活者の優先課題	商店街・テナントの優先課題
①地域の魅力創出	<ul style="list-style-type: none"> 屋外で飲食できるスペースの拡充 豊富な自然に触れられる環境の拡充 団らんでできる場所の拡充 他地域には無い地域独自の飲食店の拡充 生でレベルの高い芸術を鑑賞できる環境の提供 新しい友人をつくる機会の提供 友人や知人との交流機会の提供 世代を超えた交流機会の提供 	-
②認知度向上・地域への参画促進	<ul style="list-style-type: none"> 新しい友人をつくる機会の提供 友人や知人との交流機会の提供 世代を超えた交流機会の提供 友人知人からの口コミを促すコミュニティ形成 西新宿エリア全体での統一的な情報発信 他エリアと比して特徴的なまちのブランドイメージ確立 	<ul style="list-style-type: none"> ターゲットを特定した効果的な情報発信 情報発信を行う機会の提供
③移動環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 災害対応力、バリアフリー対応力の強化 ゆとりのある、まちなかの歩行空間の提供 3密を回避できる移動空間の提供 清潔感が保たれている環境の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 店舗までの移動の円滑化（経路が複雑） バリアフリー環境の整備
④新たなワークスタイルの確立	<ul style="list-style-type: none"> 必要ときにチームで集まって、議論ができる環境の提供 騒音がなく、プライバシーの確保された環境の提供 屋外で働く環境の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 求人に対する応募数の確保 求めている人材の獲得
⑤エリア共通基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> エリアに関連する官民データの円滑な共有及び利活用の促進 エリア内のオープンスペースの利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> 事業スペースの確保 環境に配慮した取組の推進

R4年度の実施方針（案）

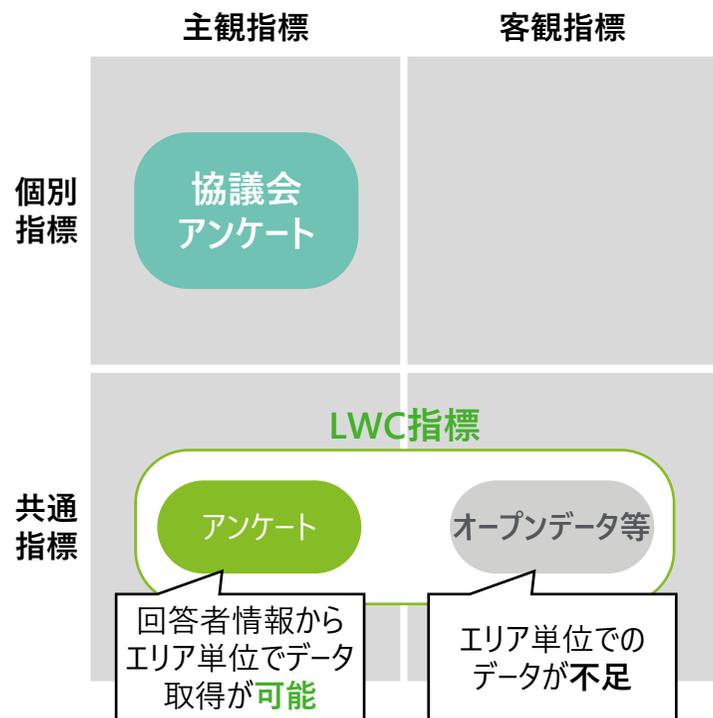
アンケート調査の継続により、優先課題の更新および取組の効果検証を行う

	課題把握		効果検証
	アンケート①（継続） 西新宿における 課題の把握	アンケート②（継続） 西新宿における コミュニティ参加ニーズの把握	アンケート③（継続） 取組全体・取組毎の 効果検証
目的	<ul style="list-style-type: none"> ■ 西新宿における優先課題の更新を行うこと ■ エリア満足度の状況を確認し、その要因を把握すること 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 西新宿の生活者がコミュニティメンバーに移行するうえで有効な巻き込み策を把握すること 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 課題解決に向けて実施した取組の効果を検証すること ■ 実施すべき取組のブラッシュアップにつなげる
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 西新宿の生活者（居住者・通勤者・来街者） 		<ul style="list-style-type: none"> ■ コミュニティメンバー
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 西新宿に対する満足度 ■ 西新宿における課題 ■ エリアのイメージ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ コミュニティへの参加ニーズ（コミュニティに求める取組） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取組に対する満足度 ■ 取組に対するニーズ
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ Webアンケート調査を実施 		<ul style="list-style-type: none"> ■ LINEアンケートを実施
実施時期（予定）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2023年1月 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 2023年2月

SCI調査に用いるLWC指標の活用方針（案）

LWC指標の主観指標を取り込むことで、生活者の課題を広く抽出することが可能になる

各指標の位置づけ



協議会アンケートの補完としてLWC指標を活用

- LWC指標のうち主観指標のデータ取得・活用を検討する
- 西新宿の課題抽出にあたって、従来の協議会アンケートと補完関係になる想定（詳細右）
- 課題を導出するにあたっては、個別・共通問わない

これまでの課題抽出



課題抽出（案）



5.【課題解決PT・都市OS検討PT】 実施方針（案）の報告

R4年度の課題解決PT・都市OS検討PTの実施方針（案）

課題解決PTと都市OS検討PTは合同開催し、中長期PJの状況共有等を実施する

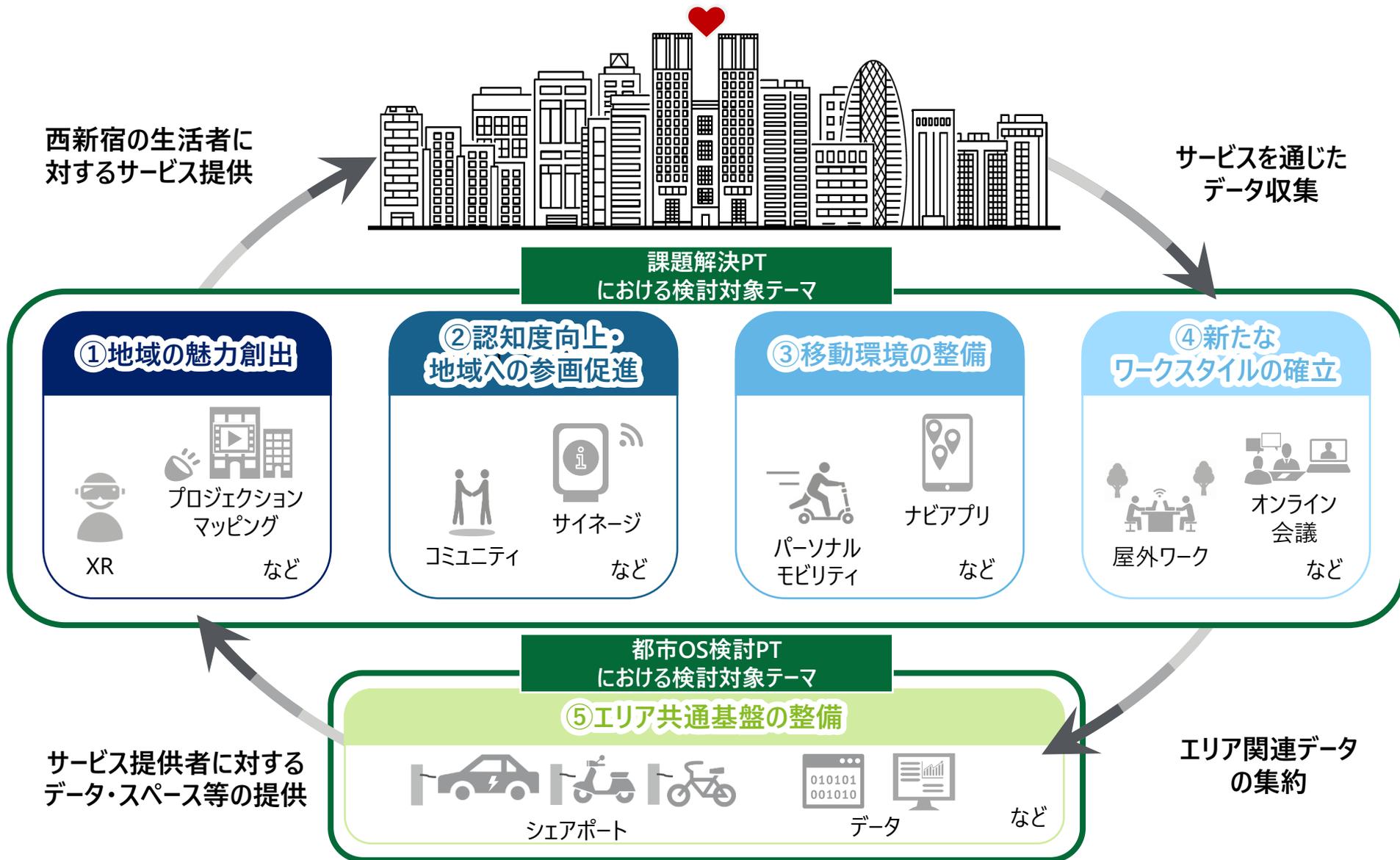
	課題解決PT	都市OS検討PT
ミッション	<ul style="list-style-type: none"> ■ 優先的に解決すべき課題に対し、プロジェクト間で連携をとる中で施策を実行し、実装につなげる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ オープンスペース利活用促進を目的としたエリアOSの改修・改善を実施することで、実装につなげる
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境改善委員会 ■ 東京都 ■ 新宿区 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 通信事業者 ■ プロジェクトリーダー ■ フェロー
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各テーマのR4年度取組内容共有 ■ 企画の進捗状況・課題感・成果（効果検証結果）共有 ■ 新規PJ立ち上げに関する状況共有 	<ul style="list-style-type: none"> ■ エリアOSの構築状況の共有 ■ エリアOSを中心としたスマートシティ推進体制（ファイナンススキーム・運営体制 等）の検討状況共有
スケジュール ・主な アジェンダ	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 5月 <div style="background-color: #4CAF50; color: white; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">協議会 (第1回)</div> 10月 <div style="background-color: #4CAF50; color: white; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">協議会 (第2回)</div> 3月 <div style="background-color: #4CAF50; color: white; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">協議会 (第3回)</div> </div>	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 年間スケジュール（案）の共有 ■ テーマ①～④企画の共有 ■ テーマ⑤企画（案）の共有 ■ 各テーマ実証企画内容に関する意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ■ テーマ①～④における実証の進捗状況・課題共有 ■ テーマ⑤における実証の進捗状況・課題共有 ■ 新規PJ募集状況の共有

※PTについては、必要に応じて追加開催

中長期的な視点での検討テーマの全体像

中長期的な視点での検討テーマの全体像

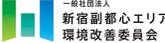
西新宿でテーマ毎に実現される2~3年後の状態の実現に向けたプロジェクトを推進



※各テーマに記載している内容は例示

中長期の課題解決プロジェクト（2022年5月時点）

8つの中長期プロジェクトを推進

テーマ	実現される2~3年後の状態	プロジェクト名	プロジェクトリーダー	施策概要
①地域の魅力創出	平日・休日や時間帯を問わず、西新宿の特性を活かしたコンテンツを提供・体験し、楽しんでいる状態	①-1. 新宿WoWプロジェクト		地域資源を活用した魅力的なコンテンツの創出・コンテンツ間の連携促進
		②-1. コミュニティ形成・交流人口増加プロジェクト		地域内外での交流活性化を図る部活動コミュニティ活動等の実施
		②-2. スマートシティカレンダー		エリア内情報をカレンダーアプリに連携することによる情報集約と情報発信
		②-3. 西新宿LOVE Walkerプロジェクト	角川アスキー総合研究所 KADOKAWA ASCII Research Laboratories, Inc.	生活者参加型のWebメディアによるエリアの情報発信
②認知度向上・地域への参画促進	個人のニーズに合った情報や地域内コミュニティ活動の情報が手に入ることで「人與人」「人と都市」がつながれる状態	②-4. 無人対話型受付案内プロジェクト	 株式会社レスターエレクトロニクス	ルート・イベントの案内やユーザーの声収集のためのキャラクター・インターフェイス提供
		③-1. 次世代モビリティプロジェクト		西新宿の魅力スポット、ワークスペースをつなぐ次世代モビリティの提供
		④-1. 西新宿CAMPプロジェクト	 	先端技術を備えた屋外ワークスペースやジョブマッチングプラットフォームの構築
		⑤-1. 西新宿TSUNAGUプロジェクト	 	各プロジェクトの拡大に係るエリア共通基盤の整備
③移動環境の整備	誰もがニーズに合った移動方法を選択し、ゆとりある空間で、安心・快適にエリア内を移動できる状態			
④新たなワークスタイルの確立	特定のオフィスに限らず快適に働ける環境があり、エリア内外のワーカーが高い生産性で働けている状態			
⑤エリア共通基盤の整備	エリア内の実証や各種サービス実装に必要な共通基盤（ハード・データ・ルール等）の利活用が円滑かつ迅速にできる状態			

テーマ毎の実現される2~3年後の状態：①地域の魅力創出

凡例 緑字：R3年度新たに設定した優先課題

西新宿の課題（生活者）

生でレベルの高い芸術を鑑賞できる環境の提供

新しい友人をつくる機会の提供

世代を超えた交流機会の提供

屋外で飲食できるスペースの拡充

他地域には無い地域独自の飲食店の拡充

豊富な自然に触れられる環境の拡充

友人や知人との交流機会の提供

団らんでできる場所の拡充

平日・休日や時間帯を問わず、
西新宿の特性を活かしたコンテンツを提供・体験し、楽しんでいる状態



自然を感じられる野外飲食スペース
(出所：SHUKNOVA HP)



XRイベント（Beyond the Frame Festival）
(出所：小田急電鉄株式会社 HP)



飲食店のリアルタイムの空席状況の可視化
(出所：VACAN HP)



屋外イベント
(出所：PR TIMES HP)

テーマ毎の実現される2~3年後の状態：②認知度向上・地域への参画促進

凡例 緑字：R3年度新たに設定した優先課題

西新宿の課題（生活者）

新しい友人をつくる機会の提供

世代を超えた交流機会の提供

友人や知人との交流機会の提供

友人知人からの口コミを促すコミュニティの形成

西新宿エリア全体での統一的な情報の発信

他エリアと比して特徴的なまちのブランドイメージ確立

西新宿の課題（商店街・テナント）

ターゲットを特定した効果的な情報発信

情報発信を行う機会の提供

個人のニーズに合った情報や地域内コミュニティ活動の情報が手に入ることで「人と人」「人と都市」がつながれる状態



デジタルを活用した交流イベント



サイン型受付案内
(出所；レスターエレクトロニクス HP)



スマートシティカレンダー
(出所；ジョルテHP)



超高层ビルを背景とした梅は新宿中央公園だけ！



ポータルサイトを通じた情報発信
(出所；西新宿LOVE WALKER HP)

テーマ毎の実現される2~3年後の状態：③移動環境の整備

凡例 緑字：R3年度新たに設定した優先課題

西新宿の課題（生活者）

ゆとりのある、まちなかの
歩行空間の提供

3密を回避できる
移動空間の提供

清潔感が保たれている
環境の提供

災害対応力、
バリアフリー対応力の強化

西新宿の課題（商店街・テナント）

店舗までの移動の円滑化
(経路が複雑)

バリアフリー環境の整備

誰もがニーズに合った移動方法を選択し、
ゆとりある空間で、安心・快適にエリア内を移動できる状態



テーマ毎の実現される2~3年後の状態：④新たなワークスタイルの確立

凡例 緑字：R3年度新たに設定した優先課題

西新宿の課題（生活者）

屋外で働く環境の提供

必要なときにチームで集まって、
議論ができる環境の提供

騒音がなく、プライバシーの
確保された環境の提供

西新宿の課題（商店街・テナント）

求人に対する応募数の確保

求めている人材の獲得

特定のオフィスに限らず快適に働ける環境があり、
エリア内外のワーカーが高い生産性で働けている状態



VR会議



屋外設置のワークスペース

(出所：KDDI総合研究所 HP)



オンライン会議ができる会議スペース



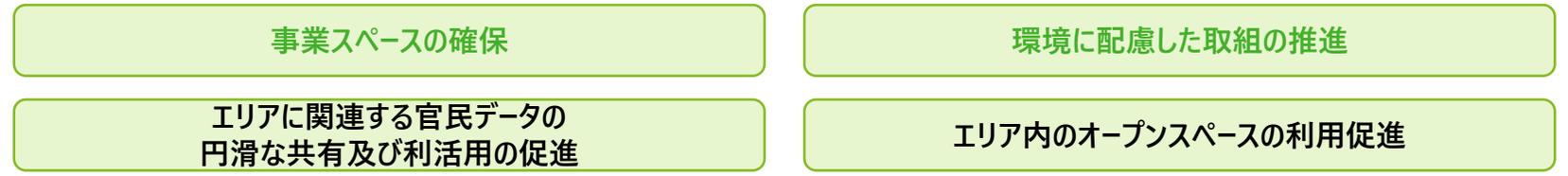
スタートアップ支援拠点
(TOKYO UPGRADE SQUARE)

(出所：東京都 HP)

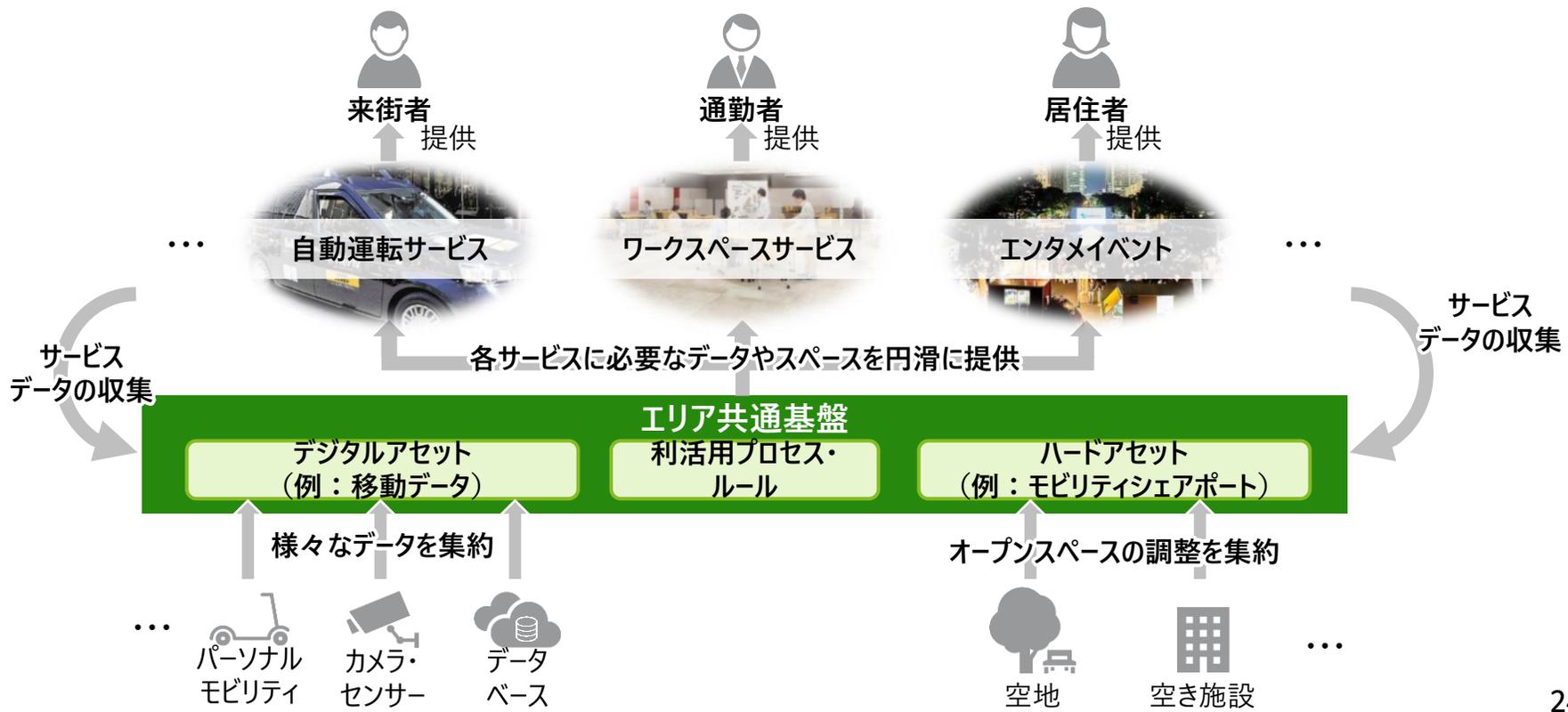
テーマ毎の実現される2~3年後の状態：⑤エリア共通基盤の整備

凡例 緑字：R3年度新たに設定した優先課題

西新宿の課題



エリア内の実証や各種サービス実装に必要な共通基盤 (ハード・データ・ルール等) の利活用が円滑かつ迅速にできる状態



6.【課題解決PT・都市OS検討PT】 プロジェクトの取組（案）の報告

プロジェクトの取組（案）の報告

テーマ①：地域の魅力創出

テーマ	①地域の魅力創出
令和3年度に判明した改善点・課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 周辺施設への波及及び連携や、イベント自体の魅力付け、情報発信・拡散についてさらなる工夫の余地がある ■ コロナ禍におけるイベント開催方法の検討が必要
令和4年度の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存イベントのプラットフォーム化の拡充 ■ 新たな連携活動（コンテンツ・効果測定）の創出 ■ 情報発信の連携

実施時期	令和4年中
実施場所	新宿中央公園他
想定KPI	連携プレイヤー数（地域内外 各+1） 提供コンテンツ数 （各イベント+2、新規+1）

実施内容

- キャンドルナイトイベントの拡充、XR施策の展開拡充、新宿中央公園でのアクティビティ創出、情報連携の推進

Candle Night @SCP



地域住民、ワーカー等の巻き込みの促進、連携プレイヤーの拡充を推進する。

XR施策の展開



XR施策の拡充、連携プレイヤーの拡充により活動の定着化を目指す。

新宿中央公園アクティビティ創出



共創により新たなアクティビティ（≒魅力）を創出する。

※各施策について情報連携や効果測定面でも連携を模索する

テーマ
①地域の魅力創出

解決を目指す西新宿の課題
<ul style="list-style-type: none"> ■ 生でレベルの高い芸術を鑑賞できる環境の提供 ■ 新しい友人をつくる機会の提供 ■ 友人や知人との交流機会の提供 ■ 世代を超えた交流機会の提供

2-3年後に目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> ■ エリア内に様々なイベント等が起こり、またそれらを通じて、受動的体験に加えて能動的体験で西新宿の魅力を楽しんでいる状態。

プロジェクト参加者・役割（案）
<ul style="list-style-type: none"> ■ コンテンツ事業者（コンテンツ連携） ■ デジタル技術事業者（XR開発事業者、通信事業者） ■ 情報発信事業者（情報発信連携） ■ 地域事業者、地域団体（企画への参画） ■ 大学等学術機関（企画への参画）

施策概要
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域資源・地域イベント等を活用し、魅力的なコンテンツの 発掘及び創出やコンテンツ間の連携を促進し、魅力が生まれるプラットフォームの構築を推進する

3か年計画	
1年目 (令和3年)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存イベントへの新規コンテンツの追加、新たな活動の実施 ✓ Candle Night @ SCP ✓ Beyond the Frame Festival
2年目 (令和4年)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存イベントのプラットフォーム化の拡充 ■ 新たな連携活動（コンテンツ・効果測定）の創出 ■ 情報発信の連携
3年目 (令和5年)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 機会（リアル×デジタル）×コンテンツの融合による魅力創出の仕組み構築の推進

KPI項目
<ul style="list-style-type: none"> ■ 連携プレイヤー数（地域内・地域外プレイヤー）各 + 1 ■ 提コンテンツ数 各イベント + 2 コンテンツ 前年 + 1 ■ 体験ユーザー数（女性参加割合・夜間活動状況）

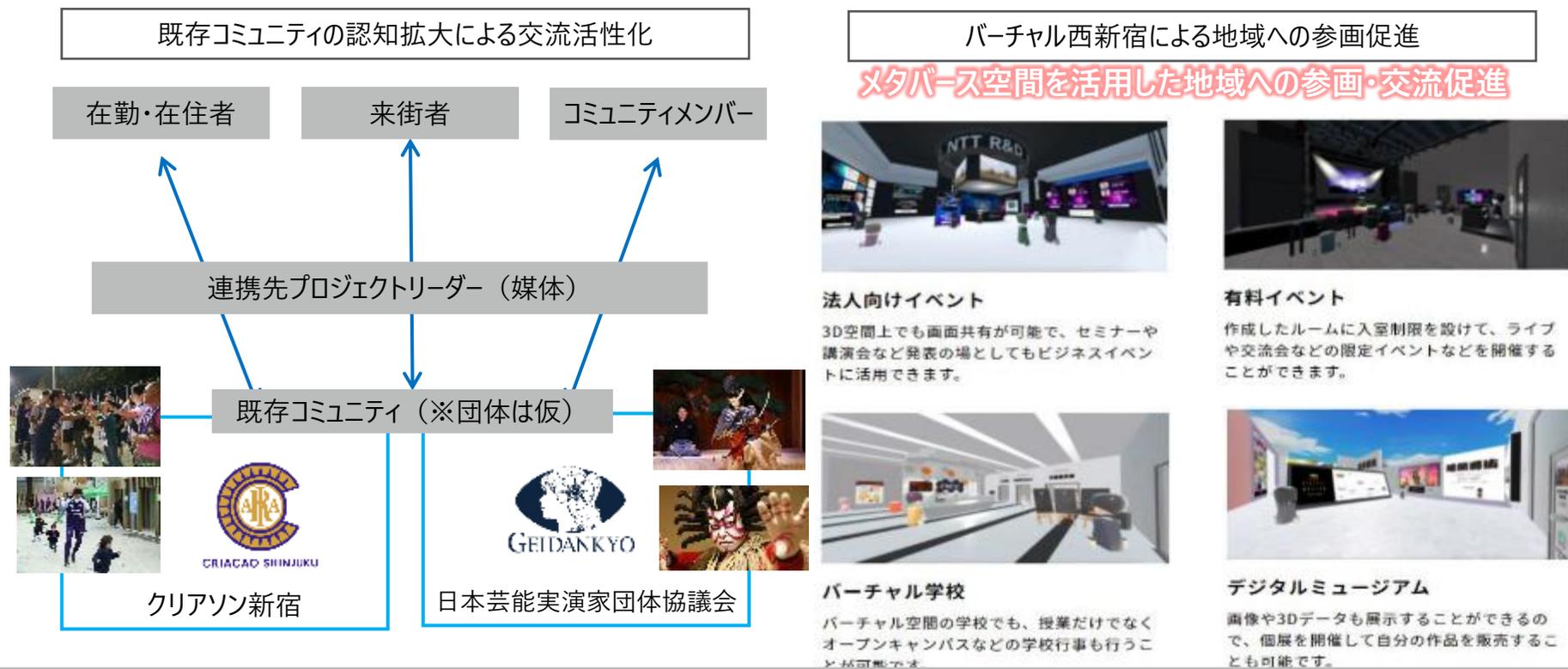
プロジェクトの取組（案）の報告

テーマ②：認知度向上・地域への参画促進

テーマ	②認知度向上・地域への参画促進	実施時期	6～10月 連携先の検討・協議、情報発信等
令和3年度に判明した改善点・課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存コミュニティの自走化に向けた検討が必要 ■ 域内外からの新たなメンバーの参画に向けた魅力あるテーマの設定、認知や情報発信が必要 	実施場所	コミュニティ活動にて検討
令和4年度の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ コミュニティの自走化、PJ間連携による情報発信の仕組み提供により認知拡大を図る ■ バーチャル空間の提供により、エリア内外からの参画促進 	想定KPI	特に設定せず

実施内容

- 西新宿バーチャルコミュニティ空間の形成・無償提供 ・ジョルテ様等連携先PJの媒体との連動による認知度向上



テーマ
②認知度向上・地域への参画促進
解決を目指す西新宿の課題
<ul style="list-style-type: none"> ■ コロナ禍によるコミュニケーションの減少（→増やしたい） ■ 物理/心理的に人が集まる場所が少ない（→増やしたい） ■ ハード/ソフト面で認知度が低い（→高めたい）
2-3年後に目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業・世代間の交流の質・量の増加により、「在勤・在住していることに満足できている（Well-being※）」状態を実現 ※身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること ■ 個人のニーズに合った情報や地域内コミュニティ活動の情報が手に入ることで「人と人」「人と都市」が繋がっている状態
プロジェクト参加者・役割（案）
<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本芸能実演家団体協議会（コンテンツ協力） ■ クリアソン新宿（コンテンツ協力） ■ その他 自走式で情報発信を実施したい様々なコミュニティ <p>※各参加者とは賛同意向を確認中 ※本協議会参加企業をはじめ、対象を拡大</p>

施策概要	
<ul style="list-style-type: none"> ■ コミュニティ自走化を図っていくうえで、地域のコミュニティを生かしながら、PJ間連携を通じた情報発信、認知度の拡大を図っていく ■ コロナ禍における地域への参画を促していくため、バーチャル空間を利用することで参画障壁を下げ、交流の活性化を図っていく 	
3か年計画	
1年目 (令和2年)	<ul style="list-style-type: none"> ■ リアルなコミュニティ、域内メンバー間の交流を形成 ■ 実践コミュニティ数：1（落語コミュニティ） ■ NPS（＝参加者の満足度）が高い状態
2年目 (令和3年)	<ul style="list-style-type: none"> ■ コミュニティを増加、域内外メンバーの交流を促進 ■ 実践コミュニティ数：2（日本舞踊、ウォーキング） ■ NPS（＝参加者の満足度）が高い状態
3年目 (令和4年)	<ul style="list-style-type: none"> ■ コミュニティの自走化、情報発信強化による交流拡大 ■ 他プロジェクトやエリア内企業のメタバース活用により、交流人口を増加
想定KPI	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 特に設定せず、連携先プロジェクトリーダーからの報告において、コミュニティの運用実績などを報告していく 	

テーマ	②認知度向上・地域への参画促進	実施時期	2022年6月～3月
令和3年度に判明した改善点・課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報の充実度拡充のため、各施設や店舗に対して情報発信の明確なメリット提示が必要 ■ 住民、訪問者へ情報を届けるための手段確立が必要 	実施場所	WEBサイト、スマホアプリ
令和4年度の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 継続的な利用につながる情報収集・発信の仕組みを構築 	想定KPI	個別店舗や施設などで、情報集約と配信サービス実施10箇所 テーマごとの報集約と配信サービス実施5カテゴリ

実施内容

- 情報発信ツールの提供だけでなく、地域課題の把握とDXを活用した改善方法を現地の方々を考える。
- 個別店舗や個別テーマに絞った情報収集、配信を試す。

カレンダー型の地域情報共有プラットフォーム スマートシティカレンダー



スマホやテレビでのイベント情報表示



テーマ
②認知度向上・地域への参画促進
解決を目指す西新宿の課題
西新宿エリア全体での統一的な情報の発信
2-3年後に目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> ■ 欲しい情報が自然と見つかる。出来ることに気付く。人の回遊を作る。 ■ 各店舗が、効率的に情報を届けられる。効率的な集客ができる。 ■ 商店街、店舗、住民、来訪者がカレンダーベースで統一的に情報を共有できる。
プロジェクト参加者・役割
<ul style="list-style-type: none"> ■ 株式会社ジョルテ（プロジェクトリーダー） スマートシティカレンダーの企画、開発、推進、地域での実証 ■ ソニーマーケティング株式会社 テレビ環境での利活用に伴うプランニング、実証実験サポート <p>※ 事業拡大に応じて、他企業を巻き込む</p>

施策概要	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 統一的な情報収集スキームの構築とカレンダー型情報発信の仕組みを構築。 ■ 西新宿エリアで行われる各種イベント情報やお知らせ情報を収集。（主要イベントだけでなく、店舗等での小さなイベント、トピック、開店時間や混雑状況も） ■ スマホだけでなく、人が集まる場所に設置した大型テレビによる情報配信。 	
3か年計画	
1年目 (令和3年)	統一的な情報収集スキームの構築とカレンダー型情報発信の仕組みを構築。
2年目 (令和4年)	情報発信ツールの提供だけでなく、地域課題の把握とDXを活用した改善方法を現地の方々を考える。個別店舗や個別テーマに絞った情報収集、配信を試す。
3年目 (令和5年)	統一的な情報発信と、エリア内での効率的な集客や、人の回遊を実現。西新宿エリアの以外にも拡大させ、エリアエリア間の人の回遊を実現。
KPI項目	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 個別店舗や施設などで、情報集約と配信サービス実施10箇所 ■ 西新宿エリアにおける、テーマごとの報集約と配信サービス実施5カテゴリ <p>※ 一過性のものではなく、継続的利用を見込めるものを優先的に実施していく</p>	

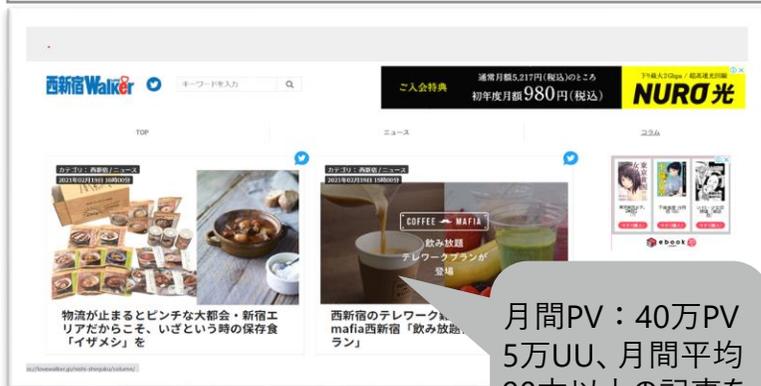
テーマ	②認知度向上・地域への参画促進
令和3年度に判明した改善点・課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ さらなる地元関係者・企業・住民の参加促進が必要 ■ コロナ禍によるリアルイベント等の実施に向けた検討が必要
令和4年度の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新たなプラットフォーム活用YouTube Liveの実施 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 1回目は7月6日の放送、宮坂副知事ご出演予定。時間は60分から90分程度を予定。2022年度は地元に関係のある方をゲストに複数回の実施も検討中。同時にTwitterキャンペーン施策も計画。更なるフォロワー数増加を図る。

実施時期	2021年1月～
実施場所	https://lovewalker.jp/nishi-shinjuku/
想定KPI	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域関連企業・団体発信の連載記事（20以上） ■ 西新宿LOVEWalkerを起点としたコミュニティやイベントの実施（3以上）

実施内容

- WEB、Twitterを通じて、西新宿に関する情報発信、地域の方々にも情報発信に協力して頂き、地元愛を訴求する狭域メディアを目指す。

西新宿LOVEWalker TOP画面



月間PV：40万PV
5万UU、月間平均
90本以上の記事を
配信。

西新宿LOVEWalker記事画面



今年度はコロナで
実施が困難だった
現地取材を強化
予定。

西新宿LOVEWalker Twitter



フォロワー数、
現在約1.2万、7月
Youtube配信時に
Twitterキャンペーン
を実施予定。

テーマ

②認知度向上・地域への参画促進

解決を目指す西新宿の課題

- ・西新宿エリア全体での統一的な情報の発信
- ・友人知人からの口コミを促すコミュニティの形成
- ・他エリアと比して特徴的なまちのブランドイメージの確立

2-3年後に目指す姿

- 西新宿の住民や西新宿で働くワーカー、通学する学生に西新宿LOVEWalkerという媒体が広く認知され、西新宿の情報の拠り所となっている。
- 西新宿LOVEWalkerへの情報提供に多くの企業、団体が関与し、このメディアを通じてコミュニティやイベントが発生している状態。

プロジェクト参加者・役割（案）

- 株式会社角川アスキー総合研究所（プロジェクトリード、WEBおよびSNS運営、コンテンツ制作）
- 東京都、ハイアットリージェンシー東京、小田急電鉄、大成建設、住友不動産、野村不動産、新宿中央公園、新宿区文化観光産業部文化観光課、SKK、淀橋町会、小田急エージェンシー、エコプラザ、熊野神社、思い出横丁、工学院大学 など、計15社および団体様より記事執筆実績あり。

施策概要

- 西新宿LOVEWalkerというWEBメディアを立ち上げ、Twitterの公式アカウントを開設、西新宿の地元愛を訴求し、この地域を活性化する。
- 地域の方々と一緒に作るUGM（User Generated Media）を目指し、この地域の多くの方々からの連載記事を展開。
- 西新宿LOVEWalkerを通して、スマートシティやスタートアップの取り組みを発信し、デジタルを通じたまちづくりのブランドイメージを醸成。

3か年計画

- | | |
|---------------|--|
| 1年目
(令和3年) | ■ 取材活動を通じて、地域関連企業や団体への認知・記事提供者（社）数の拡大 |
| 2年目
(令和4年) | ■ TwitterなどのSNSを活用した一般ユーザーの認知拡大 |
| 3年目
(令和5年) | ■ 西新宿LOVEWalkerを起点とした地域の方々与企业・団体が連携したコミュニティの形成やイベントの実施 |

KPI項目

- 地域関連企業・団体発信の連載記事（20以上）
- 西新宿LOVEWalkerを起点としたコミュニティやイベントの実施（3以上）

テーマ	②認知度向上・地域への参画促進
令和3年度に判明した改善点・課題	－ ※今年度よりプロジェクト開始のため、なし
令和4年度の取組方針	■ キャラクターエージェント“CHELULU（シェルル）”を用いた対話型受付案内を実現

実施時期	2022年10月～3月末
実施場所	西新宿エリア 商業施設／駅／役所など
想定KPI	住民への案内、興味関心の カウント、アンケート

実施内容

- PoCでは、西新宿の大規模施設に来られる住民の方々へお問い合わせをシナリオ化し、自動対話で回答。

PoC用筐体



総合案内を補佐する
端末として住民との
タッチポイントを創出

UIのイメージ



西新宿の魅力やスマートシティPJの各取り組みや、ランドマークの利用方法についての解説など、住民が新たに「知る」「発見」することに貢献。住民の皆様への興味、関心のカウントやアンケート、新たなお困りごとに対話から抽出、反映させ、その場所に最適な案内へと進化。

問い合わせを受けた各シナリオの再生回数、完遂、離脱を把握し、より適切な対応ができるよう進化。また、人流解析も組み合わせることで、設置位置が適正か、利用者の属性も分析して環境への最適化を図る。

テーマ
②認知度向上・地域への参画促進

解決を目指す西新宿の課題
ブランディング ・西新宿エリア全体での統一的な情報の発信 ・他エリアとして比して特徴的なまちのブランドイメージ確立

2-3年後に目指す姿
非対面・非接触でも人間らしい豊かなコミュニケーションを通して「人と都市」が繋がり、都市はリアルタイムに人の声を集積し、より良い環境に常にアップデートを重ね、住民の幸福度が上がっていく状態

プロジェクト参加者・役割（案）
・株式会社レスターエレクトロニクス（プロジェクトリード） アセスメント、KPI策定、PoC実施
・株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ アプリケーション開発

施策概要
西新宿エリアの様々な建物内に設置され、ルートやイベントを案内、その場を利用するユーザーの声を収集するタッチポイントとして街の進化、改善に繋がるキャラクター・インターフェイスとなります。

3か年計画	
1年目 (令和4年)	■ ランドマーク拠点での受付案内のPoC実施、レポート ■ 対話型サービスの体験を通じた認知
2年目 (令和5年)	■ 対話型案内のブラッシュアップ ■ ユーザーの声を収集と可視化
3年目 (令和6年)	パーソナルデバイス、AR、MR、XR、メタバース(VR)の案内人としてプラットフォームに対話ログを収集。より自然で豊かなコミュニケーションを追求し、西新宿で親しまれるアイコンキャラクター・インターフェイスとなる

KPI項目
■ 有人案内のリモート化による働き方改革 ■ 非接触・非対面の対話案内（ユーザー問い合わせ完遂vs離脱率） ■ 対話ログによるその時々々の周囲環境への反応収集と施策への反映

プロジェクトの取組（案）の報告

テーマ③：移動環境の整備

テーマ	③移動環境の整備
令和3年度に判明した改善点・課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自動運転など都民にサービスを提供する際の実サービス性の検討
令和4年度の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 西新宿エリア内の各魅力的スポットを回遊するための自動運転サービス化に向けた検討

実施時期	2023年1月末迄を目途
実施場所	西新宿エリア
想定KPI	乗車満足度、料金許容度、実装時の利用意向度

実施内容

- 自動運転のサービス性の検証
（交通事業者を交えた無人運行のシーケンスの検討、MaaSアプリの活用によるオンデマンドシャトルの有効性検証、運行体制の検討等）



< 自動運転サービスのイメージ >



エリア内の駅～各種スポットをシームレスに繋ぎ、短距離移動の効率化や賑わいの創出に資するサービス性を検証

テーマ
③移動環境の整備

解決を目指す西新宿の課題
<ul style="list-style-type: none"> ■ エリア内各魅力スポットへの移動手段の提供（回遊性の向上） ※今年度取組検討項目 ■ 3密を回避できる移動空間の提供

2-3年後に目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> ■ 西新宿で働く・遊ぶ・暮らす人々が、複数の次世代モビリティを利用可能でエリア内の目的地まで安心・安全・快適に移動することができる状態

プロジェクト参加者・役割（案）
<ul style="list-style-type: none"> ■ 自動運転サービスの検討 昨年度実施の信号等技術的検証がテーマであった段階を終え、サービス性の検証をテーマに実施する。 <p>【共同企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大成建設（代表企業・インフラ協調） ・アイサンテクノロジー（三次元地図） ・日本信号（インフラ協調） ・プライムアシスタンス（遠隔見守り） ・ティアフォー（自動運転システム） ・KDDI（5G） ・大成ロテック（インフラ協調） ・小田急電鉄（交通事業者）等

施策概要
<ul style="list-style-type: none"> ■ 西新宿の魅力スポット、ワークスペースをつなぐ次世代モビリティの提供 ■ 安心・安全・快適な移動サービス実現に向けた取組み ■ 各移動サービスの連携に向けた検討

3か年計画	
1年目 (令和3年)	<ul style="list-style-type: none"> ■ まちのインフラと協調（V2X）した、安心・安全な自動運転移動サービス実証実験の実施 ■ 自動走行ロボットを活用した配送サービス実証実験の実施
2年目 (令和4年)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 乗降スポット拡大、エリア内広範囲で三次元地図整備、ダイナミックマップ検証等 ■ 公共交通、次世代モビリティサービスとの対話実施・連携検討
3年目 (令和5年)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 次世代モビリティ移動サービスと公共交通のシームレスな接続検討 ■ エリア内他サービスとの連携検討

KPI項目
<ul style="list-style-type: none"> ■ 乗車アンケートの満足度（安心・安全・快適性など） 目標値：90%以上満足 ■ 歩行と比較した場合の移動時間の効率化 目標値：50%以上短縮 ■ 有償チケット発行への意見 目標値：「購入する」が50%以上

プロジェクトの取組（案）の報告
テーマ④：新たなワークスタイルの確立

テーマ	④新たなワークスタイルの確立	実施時期	1Q -3Q ワークスタイル定義・環境構築 4Q 実証・評価
令和3年度に判明した改善点・課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ コロナ禍における都民への体験機会創出の方法検討 ■ 屋外ワークスペースの設置にかかるオンデマンド性の向上 ■ AI・XR活用技術の精度向上・体験価値の向上 	実施場所	西新宿エリア内・オンライン ※具体的な場所は検討中
令和4年度の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新たなワークスペース・ジョブマッチングの体験 	想定KPI	<ul style="list-style-type: none"> ■ ワークスペース 稼働率 50% 再利用意向 75% ■ ジョブマッチング 参加組織数 10組織

実施内容

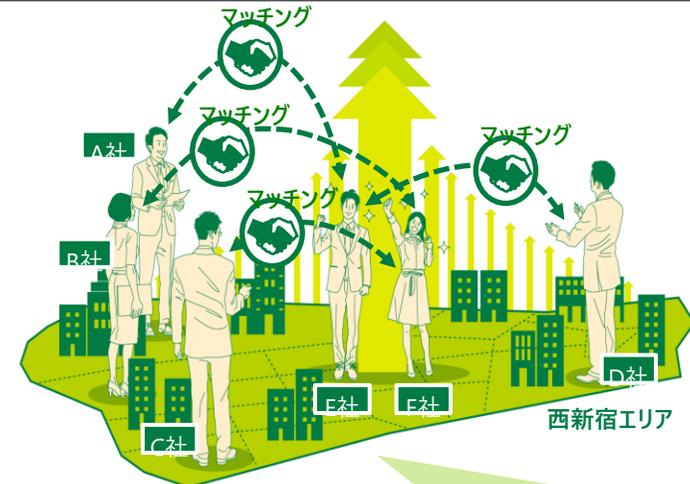
- ワークスペース：個人の働き方をアップデートし成長につなげるワークスペースの検証
- ジョブマッチング：組織を超えた人材交流の活性化に向けた導入障壁の低い施策の探索と検証

ワークスペースのイメージ ※写真は令和3年度の実証より



オフィスに限らず好きな場所で
高い生産性で働けるワークスペースの提案

ジョブマッチングのイメージ



企業・自治体を超えた
ジョブマッチング機会の提案

テーマ

④新たなワークスタイルの確立

解決を目指す西新宿の課題

- 必要な時にチームで集まって議論ができる環境の提供
- 騒音がなく、プライバシーの確保された環境の提供
- 普段出会わない社外の人とのビジネス交流機会があること

2-3年後に目指す姿

- 特定のオフィスに限らず快適に働ける環境があり、エリア内外のワーカーが高い生産性で働いている状態

プロジェクト参加者・役割（案）

- KDDI・KDDI総合研究所
2030年を想定したワークスタイルの研究、
先進生活者・パートナー企業との共創
- 大成建設
実施場所の確保、施設の構築

施策概要

- 高い生産性で働けるワークスペースの提案
- 企業・自治体を越えたジョブマッチング機会の提案

2か年計画

1年目
(令和3年)

- PFの要件定義・構築
 - 空間のデザイン・構築
 - 実証
- ※東京都の5G等活用サービス実証公募に採択

2年目
(令和4年)

- ワークスタイルの定義
- 環境構築
- 実証・評価

KPI項目

- ワークスペース ：稼働率、再利用意向
- ジョブマッチング：参加組織数

プロジェクトの取組（案）の報告
テーマ⑤：エリア共有基盤の整備

西新宿TSUNAGUプロジェクト（新宿副都心エリア環境改善委員会・東京都）

テーマ	⑤エリア共有基盤の整備
令和3年度に判明した改善点・課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ収集に向けて、データ保有者からエリア OSの有用性に対する理解獲得が必要
令和4年度の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ サービサーがオープンスペース利活用を検討する際に活用できるデータの集約・可視化と、スペース管理者との調整に必要な機能を構築・改善

実施時期	<ul style="list-style-type: none"> ■ 機能改善：7月～12月 ■ 推進体制検討：4月～12月
実施場所	西新宿エリア
想定KPI	■ 掲載データ種数：10種類

実施内容

- データの追加収集に向けたインセンティブ設計を含む方法の検討とスマートポールデータの連携拡充
- 新規サービサー連携による課題の抽出と機能改善
- スマートシティ推進体制の検討と移行準備（ファイナンススキーム・運営体制 等）

西新宿データライブラリ



スペースや人流等の
エリアデータの掲載拡充

西新宿ダッシュボード



オープンスペース利活用に
必要な「申し込み」等の
機能改善を実施

西新宿TSUNAGUプロジェクト（新宿副都心エリア環境改善委員会・東京都）

テーマ

⑤エリア共通基盤の整備

解決を目指す西新宿の課題

- エリアに関連する官民データの円滑な共有及び利活用の促進
- エリア内のオープンスペースの利用促進

2-3年後に目指す姿

- エリア内の実証や各種サービス実装に必要となる共通基盤（ハード・データ・ルール等）の利活用が円滑かつ迅速にできる状態

プロジェクト参加者・役割（案）

- 新宿副都心エリア環境改善委員会（ハードアセットやハードアセット関連データの収集・提供）
- 東京都（デジタルアセット（エリアOS）の構築）

施策概要

- オープンスペースの利活用促進に向け、エリア共通基盤として対象とするハードアセットやデジタルアセット（エリアOSやデータ）、及びその管理・運用方法を実証等を通じて検討
- ハードアセットやデジタルアセットを利用する際のルールやプロセスを検討
- エリア共通基盤を管理運用する組織体制やビジネスモデルを検討

3か年計画

1年目（令和3年） ■ 特定の移動サービスにおける活用をケースに、共通基盤の検討・実証を実施

2年目（令和4年） ■ 活用する移動サービスの幅を拡張し、継続した実証を行うとともに、機能を改善・改修

3年目（令和5年） ■ 移動以外の分野にサービスの幅を拡張し、継続した実証を行うとともに、実装機能を拡張・強化

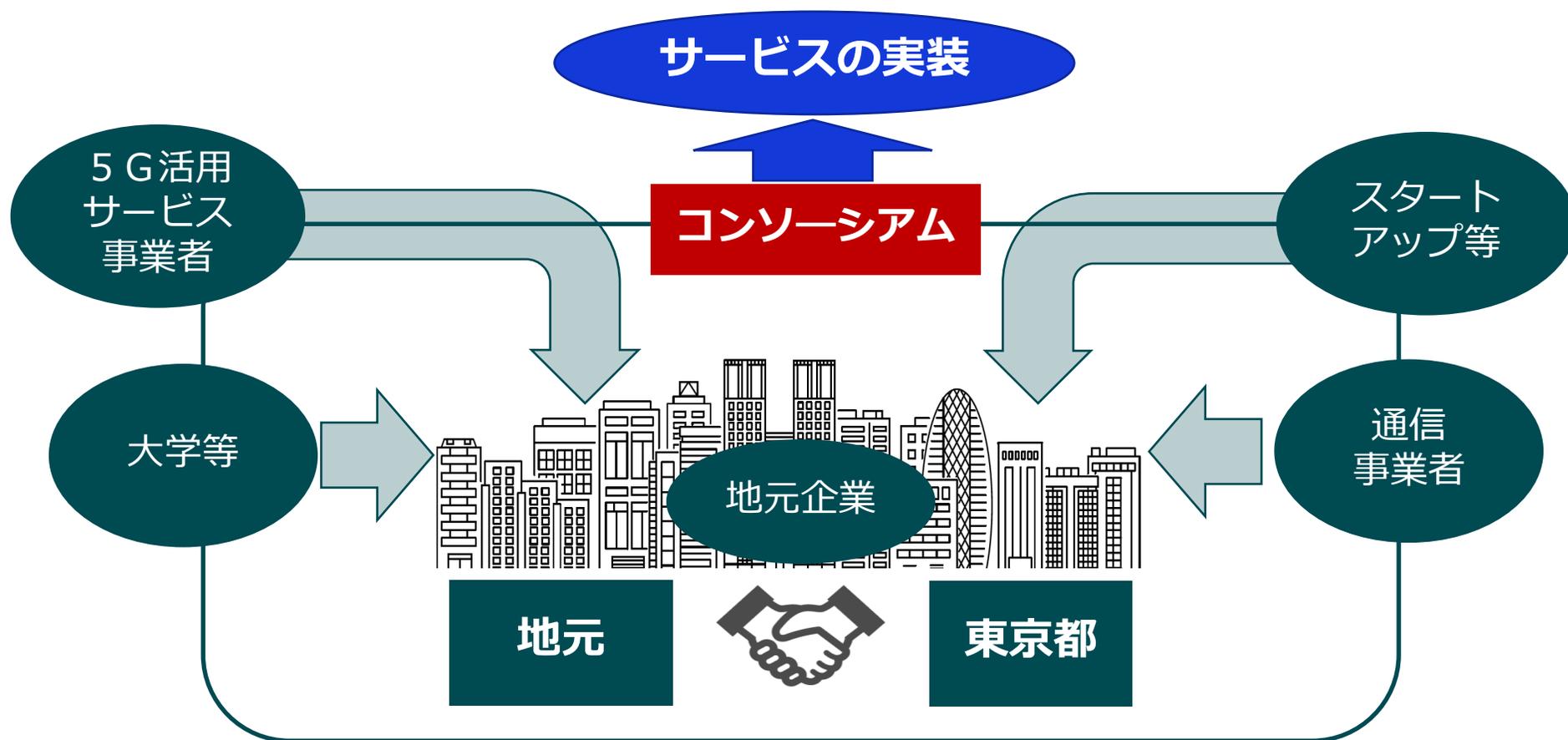
想定KPI

- 検証観点① エリアOSに求める機能を実証・実装できたか
- 検証観点② 西新宿で展開するサービスの高度化に寄与できているか
⇒想定KPI：連携サービス数 10件
- 検証観点③ センサーや他システムと連携してデータを収集できているか
⇒想定KPI：利用できるデータ種数 6種類

都関連事業の取組

令和4年度の新たな取組

5G等先端技術を活用したサービスの実装を目指すコンソーシアムを組成
西新宿に多様な事業者等呼び込み、地域と協働で取組を推進



令和4年度の新たな取組

コンソーシアム参画事業者と地元企業が連携し、
サービスの実装に向け協働で取り組む



サービス実施に係る
申請支援・場所の提供

アクセラレーターによる
事業者間マッチング



サービス開発費の助成

各サービスの
プロモーション



令和4年度の新たな取組

大学等とコンソーシアムが連携し、
大学生等を対象とした **DX人材創出** に向けた取組を実施

大学生等を対象としたDX人材創出

大学研究室等への
サービス実装支援

- 大学の研究室等の最先端技術を活用したサービス開発に対する助成を実施

学生による
アイデアコンテスト

- デジタル技術で地域課題を解決するアイデアを学生から募りコンテストを実施

大学生向け
DX講座・インターン

- 基礎的なDX講座・ビジネス講座を実施
- コンソーシアム参画事業者等へのインターンシップを実施

サービスと人材を創出し
エコシステムを構築



令和4年度の新たな取組

西新宿から多様なサービスを展開

サービスの都市実装を加速し、スマート東京を実現



ロシア・ウクライナ情勢を契機とした 社会構造変化への対応について

令和4（2022）年5月24日

都民・事業者の皆さまへのお願い①

- 今夏・今冬、東京では電力需給のひっ迫が懸念されています。
- 東京都では、目の前の電力需給ひっ迫への対応とともに、中長期的な視点から、「脱炭素社会」の実現に向けた取組を一層強化・加速することで、エネルギーを安定的に確保してまいります。
- こうした状況を乗り越えるため、都民・事業者の皆さまと共に、総力戦で取り組む必要があります。
- 公式サイト「Tokyo Cool Home & Biz」では、家庭向け・事業者向けに様々なメニューを用意して展開していきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

取組のポイントは、電力を
①減らす・①創る・①蓄める

HTT 電力を
へらす
つくる
ためる



✓ 公式サイト「Tokyo Cool Home & Biz」

検索

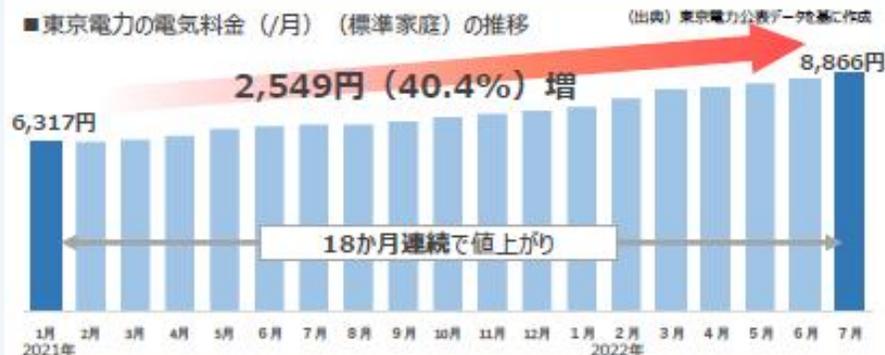
TokyoTokyo

都民・事業者の皆さまへのお願い②

- ✓ 電気料金は、過去5年間で最も高い水準となっており、更なる上昇が見込まれます。
- ✓ 電力需給見通しによれば、安定供給量に対し**5%の供給力不足**とあり、消費電力のピーク時間帯においては、**電力需給がひっ迫する可能性**があります。
- ✓ このことから、より一層の節電・省エネへの**取組**が必要です。



電気料金は過去5年間で最も高い水準、更なる上昇も懸念



電力需給見通しは厳しい状況



不足電力（約254万kW）
安定供給量（5,607万kW）
≒ **約5%**

東京都：約5%の世帯 （令和2年国勢調査）
→ 練馬区の世帯数に相当（約37.5万世帯）
※ 東京都の総世帯数（7,227,180世帯）× 5% ≒ 約36万世帯

都民・事業者の皆さまへのお願い③

日頃から、無理のない範囲で、電気の使い方を見直してみませんか。

特に、電力使用量の多い時間帯は、さらなる節電・省エネの工夫にご協力ください。

こうした取組により、電気の契約アンペアを変更すると、さらに電気代の節約につながります。



電気を減らす

◆ 節電・省エネ行動を実践する

- ✓ 家電製品の使用を控える工夫をする
- ✓ 消費電力が小さくなるような使い方をする

◆ 他の方法に切り替える

- ✓ 省エネルギー性能が高い家電製品等買い替える
- ✓ 太陽光発電等の再生可能エネルギーを利用する
- ✓ 断熱性能の高い家に住む
- ✓ 事業所において省エネルギー性能の高い機器に変更する



ピークをずらす

◆ 電気使用が多い時間帯を避ける

- ✓ 消費電力の大きい家電製品の同時使用を避ける
- ✓ 電気使用が多い時間帯（午後2時頃）は家電製品の使い方を工夫する
- ✓ 節電マネジメント（デマンドレスポンス）等のエネルギーマネジメントにより電気使用のピークをずらす
- ✓ 太陽光発電などから創った電気を蓄電池やEVに蓄めて使用する

事業者向け節電・省エネの取組

- ✓ **日常**の節電・省エネの取組に、引き続きご協力をお願いします。
- ✓ **電力消費のピーク時間帯**においては、節電マネジメント（デマンドレスポンス）などのエネルギー・マネジメントによるピークカット・ピークシフト等にもご協力ください。

都では、省エネ設備の更新や省エネコンサル派遣など、事業者向けの支援メニューを用意しています。

✓ 公式サイト
「Tokyo Cool Home & Biz」
検索



※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に支障のない範囲で実施をお願いします。
【参考】ビル管理法の考え方に基づき必要換気量（毎時30m³/人）

※ 省エネ効果の目安：対策を実施した場合の事業所全体のエネルギー消費量に対するおおよその削減効果
（事務所（個別空調20%）ビルを想定）

日常の取組による削減電力量の目安

	設備	削減電力量	実施事項
Ⓜ 減 ら す	空調	▲2%	クールビズの徹底による空調設定温度の緩和（居室の室内温度28℃、居室以外は28℃以上に設定）
		▲0.6%	居室使用時間以外の空調停止の徹底
		▲0.1%	空調機フィルターの清掃の実施
	照明	▲2.5%	照明照度の見直し（居室は500ルクス程度）
		▲0.4%	昼休み等の消灯実施
	コンセント	▲0.3%以上	トイレ便座暖房・便所洗面給湯等の停止 パソコン画面の明るさの抑制
換気	▲0.4%	換気の目的に応じて、ファンの適切運用による過剰な換気の削減（※）	

設備の更新・導入による省エネ効果

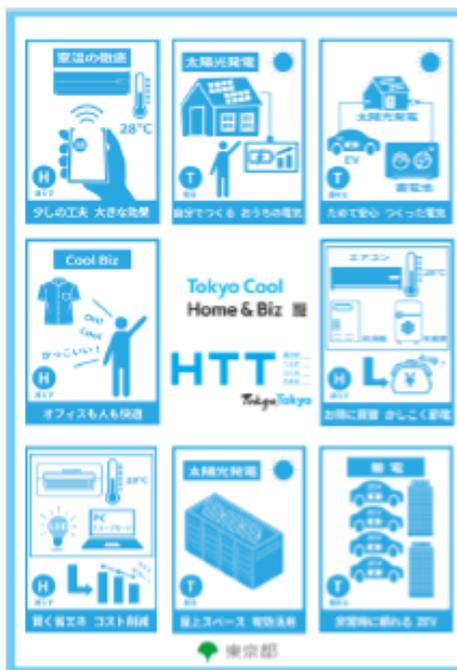
	設備	削減電力量	実施事項
Ⓜ 減 ら す	空調	▲7～14%	高効率な換気・空調設備への更新 （支援策：中小規模事業所向け 省エネ型換気・空調設備導入支援事業）
	照明	▲14%	LED照明への更新 （支援策：中小企業者向け省エネ促進税制）

HTTの取組を応援するPRツール

- 公式サイト「Tokyo Cool Home & Biz」で、ちらしやポスターを掲載しています。
- 店頭やオフィス、HPに掲載することで、節電をはじめとした自らのH①T①Tの取組をPRしていただくとともに、節電の呼びかけにもご協力ください。



〔ちらし〕



〔ポスター〕

✓ 公式サイトから
簡単ダウンロード



「Tokyo Cool Home & Biz」

検索

7.【広報・巻き込みTF】 実施方針（案）の報告

R4年度の広報・巻き込みTFの実施方針（案）

今年度は各取組の発信による認知度向上と意見交換会による生活者の意見収集を図る

<p>ミッション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 西新宿スマートシティ協議会の取組を効果的に発信し、認知度を高めること ■ 西新宿における多くの生活者の意見を収集すること ■ 西新宿スマートシティ協議会の取組に協働してくれる個人・企業との繋がりをつくり、コミュニティ化すること 				
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境改善委員会 ■ 東京都 ■ 新宿区 ■ フェロー 				
<p>実施事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広報活動： <ul style="list-style-type: none"> ➢ ホームページ（以降、「HP」と記載）での情報発信、イベントにおける情報発信 ■ 巻き込み活動： <ul style="list-style-type: none"> ➢ LINEでのお知らせ、コミュニティとの合意形成（VOICE）の実施、コミュニティとの意見交換会・勉強会 				
<p>スケジュール ・主な アジェンダ</p>	<p>5月</p>	<p>協議会 (第1回)</p>	<p>10月</p>	<p>協議会 (第2回)</p>	<p>3月</p> <p>協議会 (第3回)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 年間スケジュール（案）の共有 ■ イベント開催やコミュニティとの意見交換会等の活動方針の共有 		<ul style="list-style-type: none"> ■ HP更新等の広報活動の状況共有 ■ イベントの企画状況共有 ■ コミュニティ意見交換会結果の共有 		<ul style="list-style-type: none"> ■ HP更新等の広報活動の状況共有 ■ イベント実施の振り返り ■ コミュニティ意見交換会結果の共有 ■ 広報・巻き込み活動の振り返り ■ 次年度方針（案）の共有

※TFについては、必要に応じて追加開催

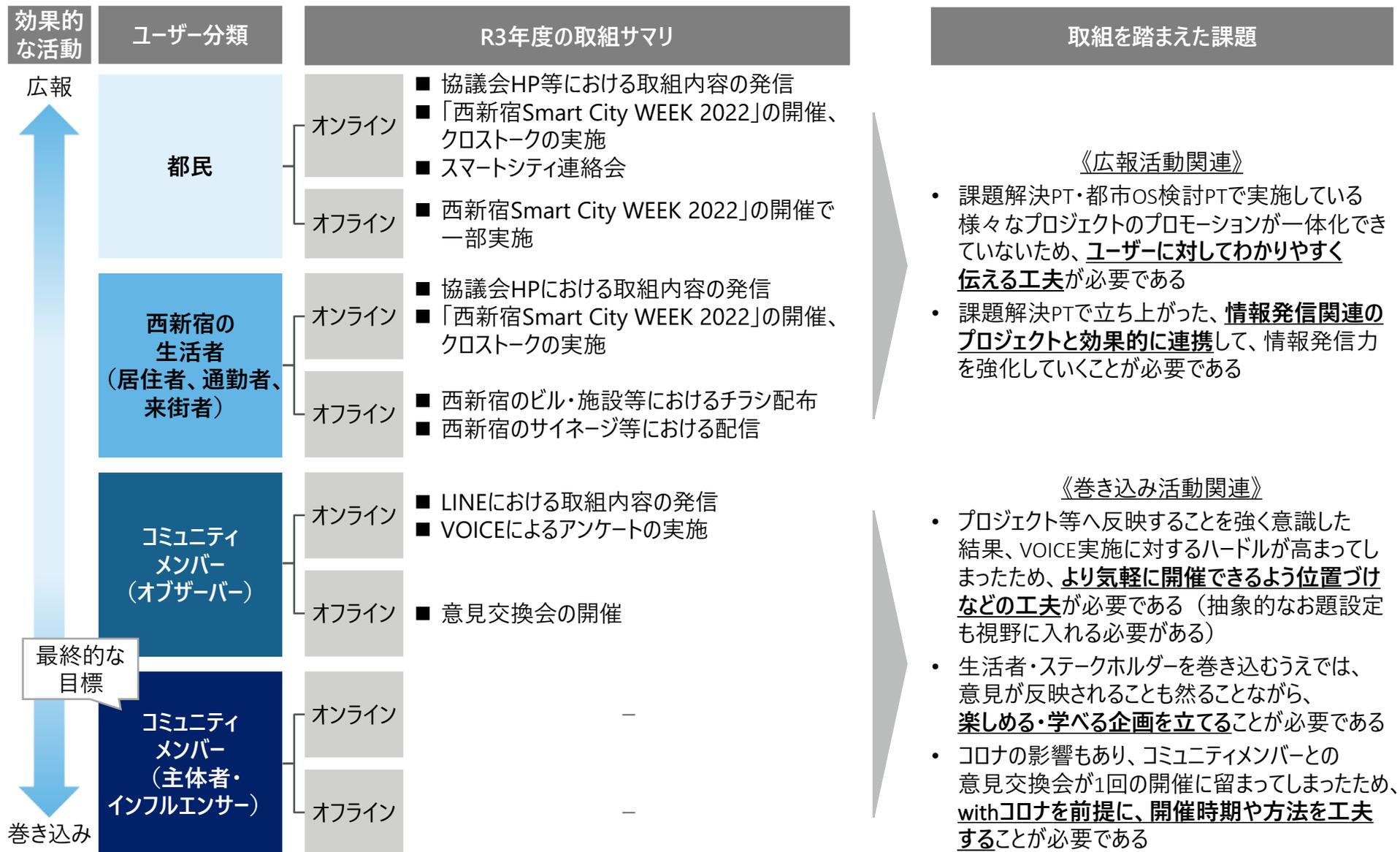
広報・巻き込みTFにおけるターゲットの考え方（R2年度協議会資料再掲）

エリア活性化を図る主体者を増やすことを目標に、活動を推進

効果的な活動	ユーザー分類	状態定義	繋がり深化に向けて期待する行動	行動を促すために提供すべき機会
広報 	都民	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活において西新宿との関わりがない人 スマート東京の取り組みを認知していない人 	<ul style="list-style-type: none"> 東京都がスマート東京を推進し西新宿が先行実施エリアとして位置づけられていることを認知し、西新宿スマートシティプロジェクトの情報を収集する 	<ul style="list-style-type: none"> スマート東京のビジョンや先行実施エリア、各エリアの概要を知る機会
	西新宿ユーザー（通勤者・居住者等）	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に西新宿と関わりはあるが、西新宿スマートシティプロジェクトを認知していない人 西新宿スマートシティプロジェクトを認知しているが、コミュニティに参加していない人 	<ul style="list-style-type: none"> 西新宿スマートシティプロジェクトの情報を収集していく中で、実証や巻き込み活動に興味を持ち、コミュニティに参加する 	<ul style="list-style-type: none"> 西新宿スマートシティプロジェクトの目指す姿や体制を知る機会 同プロジェクトの実証や巻き込み活動等の取組内容を知り、コミュニティに参加するメリットを感じられる機会
	コミュニティメンバー（オブザーバー）	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティに参加しており、西新宿スマートシティプロジェクトを理解し、共感している人 西新宿スマートシティプロジェクトに関与したいと考えている人 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ参加者向けに発信される情報や西新宿の各種取組への参加・交流を通じて自身も西新宿に愛着と誇りを感じ、イベント等を企画する 	<ul style="list-style-type: none"> 西新宿の取組やスマートシティに関して理解を深められる機会 コミュニティの声として意見を取り上げられる機会 コミュニティ参加者同士が交流できる機会
	最終的な目標 コミュニティメンバー（主体者・インフルエンサー）	<ul style="list-style-type: none"> 西新宿スマートシティプロジェクトへの参加に留まらず、活動の拡大・活性化に寄与している人 	<ul style="list-style-type: none"> 自身が主体者として、コミュニティ内外の人々が西新宿への憧れや期待を抱くような情報発信を行い、継続的に活動の規模拡大を図る 	<ul style="list-style-type: none"> イベント等で自身の活動を発信する機会 活動の企画に際して活動場所やメンバーを獲得する機会 継続的な活動を通じてインセンティブを獲得する機会
巻き込み				

昨年度の取組結果とR4年度に向けた課題

R3年度の活動の結果、広報・巻き込み活動で明らかになった課題の解消が必要



R4年度の活動方針（案）

課題を踏まえ、昨年度から実施している取組を改善して推進する

取組を踏まえた課題

《広報活動関連》

- 課題解決PT・都市OS検討PTで実施している様々なプロジェクトのプロモーションが一体化できていないため、ユーザーに対してわかりやすく伝える工夫が必要である
- 課題解決PTで立ち上がった、情報発信関連のプロジェクトと効果的に連携して、情報発信力を強化していくことが必要である

《巻き込み活動関連》

- プロジェクト等へ反映することを強く意識した結果、VOICE実施に対するハードルが高まってしまったため、より気軽に開催できるような位置づけなどの工夫が必要である（抽象的なお題設定も視野に入れる必要がある）
- 生活者・ステークホルダーを巻き込むうえでは、意見が反映されることも然ることながら、楽しめる・学べる企画を立てることが必要である
- コロナの影響もあり、コミュニティメンバーとの意見交換会が1回の開催に留まってしまったため、withコロナを前提に、開催時期や方法を工夫することが必要である

R4年度の取組方針

公式ホームページ・LINE公式アカウント

- エリアの取り組みを理解いただくためのお知らせの発信を継続して実施
- 都民に対してわかりやすい発信内容・コンテンツを検討

中長期プロジェクト連携

- スマートシティカレンダー、西新宿LOVE Walker等と連携した情報発信を推進（ホームページ・LINEへの誘導）

エリア関連イベント連携

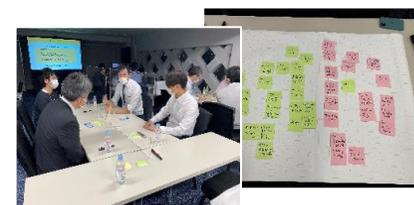
- 西新宿で実施されるイベントと連携した情報発信を継続して実施
- 企業の社員に対する周知強化

VOICE・意見交換会

- 協議会活動に関連する双方向コミュニケーションを継続して実施（KPI：協議会活動への意見の反映4件）

勉強会 ※PTメンバー向け

- PTメンバー間の関係性強化と知見共有を企画し、継続して実施



8. 意見交換

西新宿の課題解決に向けた各プロジェクトの推進に関する討議

皆様の忌憚ないご意見をお願いします

討議の 目的

- 西新宿の課題解決に向けたPT/TFでの実施内容、各プロジェクト間の連携等を通じた効果的な取組について意見交換を行うこと
- 西新宿スマートシティ協議会の広報や巻き込みのための取組に関する意見交換を行うこと

討議 したい点

- 各プロジェクトの更なる魅力向上、円滑な推進のために、プロジェクト間での連携や協力が可能な点
- 西新宿スマートシティ協議会により多くの人を巻き込むために取組が可能な点

ルール

- ご所属や役職などを忘れ、西新宿に関わる一個人としてご意見ください
- 他の方の意見も踏まえ、量を重視した積極的なご発言をお願いいたします
- ご発言の際には①ご所属、②お名前を冒頭に仰ってください
- 本討議に関する詳細（発言者名・発言者毎の発言内容等）は公開されません
※本協議会の議事録は、概要のみ公開を予定

協議会設立から3年目
さらに魅力ある西新宿の実現に向け
協議会活動を次のステージへ!!



- ① 広報・巻き込み活動、発信の強化
- ② 各プロジェクトの都市実装に向けた取組推進
- ③ 協議会の持続的な運営に向けた検討

西新宿の将来イメージ

「人が憩える、緑が至る所にある西新宿をつくる」



(参考) 「未来の東京」戦略より

協議会活動の重点ポイント（案）

①広報・巻き込み活動、発信の強化

活動方針（案）

- 西新宿の方々に対して、協議会活動の認知度向上を図る
- 意見交換会などの取組から、協議会活動への意見の反映を図る

取組の具体例

- 各プロジェクトの取組を西新宿LOVE Walkerが開設するYoutubeLive（インターネットTV）で紹介
- 各企業を通じて、社員にスマートシティカレンダー等のアプリのDLを促す
- 都庁や地元区、企業等のイベントで、各プロジェクト紹介やLINEの登録促進等を実施する
- アプリやスマートシティカレンダー等を利用して、飲食店を利用したお客への特典などを検討する
- 意見交換会はスマートシティ化を実感できるテーマを設定し、複数回実施して参加機会を増やす

協議会活動の重点ポイント（案）

②各プロジェクトの都市実装に向けた取組推進

活動方針（案）

- プロジェクト間で連携することで、内容や広報効果を拡充し、都市実装を促進する
- 未着手の課題の解決に資する、新規プロジェクトを組成し、取組の重層化を図る

取組の具体例

- 「5 G コンソーシアム」を通じ、技術課題への対応や提供先の調整により、プロジェクトの実装を加速する
- 対外発信力を持つ広報系プロジェクトと他プロジェクトを組み合わせ、地元関係者との連携を強化する
- ムーンショット的な目標を新たに掲げ、西新宿地区の更なる賑わい創出や価値向上を図る
- 新たなプロジェクトは、エネルギーの安定確保（脱炭素）など、危機的な課題に対応した内容とする

協議会活動の重点ポイント（案）

③協議会の持続的な運営に向けた検討

活動方針（案）

- スマートシティ化を実感できる実装イメージを広く共有する
- 持続的な協議会運営を目指す

取組の具体例

（１）実現イメージの策定・共有

- 西新宿エリアの強み（ポテンシャル）を活かし、将来の街の再編を見据え、数年後に各プロジェクトが街なか実装されている実現イメージを可視化し、共有する

（２）組織体制の検討

- スマートシティ化に必要な機能と役割を分担した組織体制とファイナンスの検討を行う

【参考】西新宿スマートシティ協議会設置要綱

令和2年5月15日制定
令和3年5月14日改正

(名称)

第1条 本会は、西新宿スマートシティ協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 協議会は、西新宿に関わる団体が連携し、このエリアの課題を把握するとともに、デジタル技術等を活用した課題の解決を進め、この街に関わる方々のQOL（生活の質）の向上を図ることを目的に設置する。

(組織)

第3条 協議会は、別紙の協議会構成員をもって組織する。

(協議会)

第4条 協議会は、協議会運営事務局が招集する。

2 協議会は、協議会運営事務局が必要があると認めるときは、協議会構成員以外の者を会議に出席させ、意見等を求めることができる。

3 協議会の資料及び議事概要は、原則として公開する。

(プロジェクトチーム等)

第5条 協議会運営事務局は、西新宿エリアにおけるスマートシティの実現に係る諸課題を個別具体的に検討する必要がある場合は、協議会の下にプロジェクトチーム等を設置することができる。

(協議会運営事務局)

第6条 協議会の庶務は、東京都デジタルサービス局デジタルサービス推進部及び一般社団法人新宿副都心エリア環境改善委員会事務局において処理する。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に必要な事項は協議会運営事務局が別に定める。

附則

この要綱は、令和2年5月15日から施行する。

この要綱は、令和3年5月14日から施行する。

9. 閉会の挨拶